

## 放射能測定機器利用要領

地域の子どもたちを放射能から守ったり、地元の農業・漁業の状況確認や消費者への安全確保や説明のために、常総生協として所有しております下記の機材を地域のみなさんで活用して頂けるよう公開いたします。

### 【1】測定機材

(空間線量測定機) 単位  $\mu$  Sv/h

- ①ポケットサーベイメータ アロカ社製 PDR-111 (貸し出し)
- ②シンチレーションサーベイメータ アロカ社製 TCS-172B (貸し出し)

(食品・土壌 放射能測定機) 単位Bq/kg

- ③放射能測定機 日立アロカメディカル社製 CAN-OSP-NAI(野菜・土壌・水)  
(生協本部にお越し頂き自己測定)

### 【2】貸し出し対象

1. 福島県の関係生産者・組合(福島県内有機農業研究会、あいコープふくしま関係、関係漁協ほか)につきましては、再生支援ネットワークのひとつとして放射能検査(土壌・野菜・鮮魚)を常総生協として請負い応援します。

2. 茨城県内の関係生産者、関係団体のみなさん

- 茨城県有機農業研究会会員
- 茨城県有機農業推進フォーラム会員
- 脱原発ネットワーク茨城
- 放射能汚染から子どもを守ろう@守谷(ほか同様の活動をされている団体)
- その他

3. 常総生協組合員におきましては、公園の砂場とか学校校庭の土壌、家庭菜園の土壌・野菜等は地域の初期土壌汚染状況を確認し、子どもたちや食の安全を確認するための自主検査としてご利用下さい。

### 【3】使用にあたってご了解もらう事項

測定データにつきましては、できるだけ地域で情報共有したいと考えています。

有用な情報につきましては、個人情報を除いて生協としても公開させて頂くことがありますのであらかじめご了承下さい。

#### **【4】貸し出し手順**

生協の業務での使用や地域の組合員活動での使用があることから、貸し出しの曜日・日程を調整させていただきます。

##### **① 空間線量測定のスーバイメータ2種 随時貸し出し**

日程相談 → 常総生協丸山まで ([maruyama@coop-joso.com](mailto:maruyama@coop-joso.com))

##### **② 食品・土壌 放射能測定システム(野菜・土壌・水)**

常総生協本部(守谷市本町281)に来て頂き、機器を使用して頂きます。

下記の通り曜日と連絡窓口を決めさせていただきます。

○脱原発ネットワーク茨城会員のみなさん、放射能から子供たちを守ろう@××のみなさん

毎週月曜日 → 守谷市在住 小林一朗さんまで ([kobayashi@i.email.ne.jp](mailto:kobayashi@i.email.ne.jp))

○茨城県有機農業研究会のみなさん

日程相談調整 → 事務局長田中さんまで ([tanakanouen2000@yahoo.co.jp](mailto:tanakanouen2000@yahoo.co.jp))

○茨城県有機農業推進フォーラムのみなさん

日程相談調整 → 常総生協大石まで ([oishi@coop-joso.com](mailto:oishi@coop-joso.com))

○組合員のみなさん(公園砂土壌、家庭菜園の土壌・野菜)

毎週土曜日 → 生協内受付

○福島県関係 → 随時受け入れ

#### **【5】食品放射能測定システムでの野菜・土壌・水の測定ならびに試料について**

(測定方法)

1. マニュアルにもとづいて、ご自分で測定して頂きます。
2. 標準測定時間30分で、検出限界30ベクレル程度です。

(試料について)

1. 土壌、野菜、魚、水の「試料」は最低1kgをご用意下さい(900ccの測定容器に満杯になるようにします)。
2. 野菜や魚など食品につきましては、「可食部」をカットしてフードプロセッサーなどで細かく粉砕してビニール袋に入れて1kg程度をご用意下さい(野菜は洗ってヘタなどを取り可食部を粉砕して下さい。魚は頭・エラ・内蔵・中骨を取って粉砕して下さい)。
3. 土壌は塊がある場合はよく砕いてビニール袋に入れて約1kgをご用意下さい。
4. 土壌の採取方法は、農水省のマニュアルにもとづき、深さ15cmで5ヶ所の土壌採取を標準試料とさせていただきます。
5. 土壌は水分の多少があっても風乾せずにそのままの状態です測定します。体積含水率を事前に測定します。
6. 測定した検体は原則としてお持ち帰り下さい。

**【6】費用 無料** (カンパはお気持ちを頂戴いたします 検査場所にカンパ箱あり)